



物価上昇率2%目標だって

賃金が下がるとデフレ

賃金が上がると、労働者の財布は緩む。四百円のお弁当を五百

円に変える。すると統計上はお弁当の価格が

上がる。野菜の値段が変わらなくても物価指数は上がる。こうして、

景気が良くなると物価指数は上がる。

一方、正社員が派遣

に置き換えられ賃金が下がる。四百円のお弁当を三百円にせざるを得ない。これで物価が

下がる。今のデフレだ。物価上昇率2%

安倍自公政府はデフレ解消の為、インフレにしようとして、日銀に

力。物価上昇率2%を目標に、期限を定めず金融緩和をしよう。でも、変だ？

賃金が上がれば高い弁当を買うかも知れませんか？

賃金が高ければ高い弁当を買うかも知れませんか？

いが、弁当の値段が上がって賃金上がる訳はない。却って、安い弁当で我慢する。

金融緩和で儲かるのは？

金融緩和で大企業は投資の利子負担が減り儲かる筈。でも、金融緩和して、新たに投資する大企業があるだろうか？

低利を使うのはヘッジファンド。投機に使われるだけ。

さて、物価上昇で労働者の実質賃金が下れば大企業は賃金負担が減り、儲けが増える。預金の利子は殆ど

ゼロだから、労働者の預金も目減りする。預金の一部がかすめ取られる。

大企業にとって一時は美味しい話だが、日本経済はいつそう不景気となると思う。

皆さんはどう思われますか？

皆さんはどう思われますか？

皆さんはどう思われますか？

保土ヶ谷宿近辺

旧東海道

横浜



戸塚方面から旧東海道を江戸に向かおう。駅伝で知られる権田坂の少し北の丘陵を上ることになる。

境木地蔵を過ぎると、

道は緩やかな下りとなる。下りきったところで、旧東海道は現在の東海道に合流する。この絵の保土ヶ谷二丁目

だ。急な崖は今井川が削ったもの。あと三百メートルで保土ヶ谷の一里塚に至る。江戸まで八里のところだ。

絵の左手が東京、右手が京都だ。

丘を下り平らな道に出た江戸時代の旅人は目の前の急峻な崖に驚いただろう。樹木が生い繁り「追いつきが現れるのでは？」と不安にかられたのではないか。

今は急な崖に住宅が並ぶ。眺めは良い上に坂の上り下りで身体が鍛えられそうだ。

今は急な崖に住宅が並ぶ。眺めは良い上に坂の上り下りで身体が鍛えられそうだ。

今は急な崖に住宅が並ぶ。眺めは良い上に坂の上り下りで身体が鍛えられそうだ。

今は急な崖に住宅が並ぶ。眺めは良い上に坂の上り下りで身体が鍛えられそうだ。